

① 以下の文章を読みながら「あ・い・う・え・お」に○（まる）をつけてください。

わたくしはそのひとをつねにせんせいとよんでいた。だからここでもただせんせいとかくだけでほんみょうはうちあけない。これはせけんをはばかりえんりよというよりも、そのほうがわたしにとってしぜんだからである。わたしはそのひとのきおくをよびおこすごとに、すぐ「せんせい」といいたくなる。ふでをとってもこころもちはおなじことである。よそよそしいかしらもじなどはとてもつかうきにならない。

わたしがせんせいとしりあいになったのはかまくらである。そのときわたしはまだわかかわかしいしょせいであった。しょちゅうきゅうかをりょうしてかいすいよくにいったともだちからぜひこいというはしがきをうけとったので、わたしはたしょうのきんをくめんして、でかけることにした。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

あ	い	う	え	お
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ 何について書かれた文でしたか？口頭で教えてください。

..... 折り線

【物語】 仮名拾い（かなひろい） 課題プリント その1

答え ② あ：6 い：19 う：11 え：1 お：3

③ 先生について書かれた文。（他、物語を説明してもらう）など

物語の出典：

こころ - 夏目 漱石

を平仮名に加工して作成